

ポータブル・ヘルス・クリニック(PHC)による アフリカでの母子保健管理の飛躍 — AIとデジタルクローンの活用 —

TICAD（アフリカ開発会議）は、日本政府が国連や国際機関と共催するアフリカ開発に関する国際会議です。第9回は2025年8月20日～22日に横浜で開催され、「アフリカと共に革新的な解決策を共創する」をテーマに保健、経済などの分野で連携の可能性が議論されます。

九州大学は、アジアで実績のあるICT健診＋オンライン診療の仕組みである、ポータブル・ヘルス・クリニック（PHC）を、アフリカにおける周産期母子保健の向上にも展開しています。また、大阪大学が開発したデジタルクローン技術を活用することで、医師の知識や判断を再現し、診療や患者教育を支援する新たな仕組みの構築も進んでいます。

本シンポジウムでは、九州大学、NPO法人ロシナンテス、長崎大学、大阪大学、バングラデシュのグラミンコミュニケーションズの連携によるニーズに基づいた、日本とアフリカの次世代型DX協創を紹介します。

2025

8/22

10:00-11:30



日時 2025年8月22日（金）10:00～11:30

場所 パシフィコ横浜 展示ホールD

参加方法 QRコードより事前にお申し込みください
参加は対面のみです（後日、YouTube配信あり）

プログラム 主言語：日本語（日英同時通訳あり）

司会：九州大学 アジア・オセアニア研究教育機構 教授 菊地君与



参加申込



1. 開会挨拶 来賓より挨拶

2. 研究・活動報告

- アフリカにおけるポータブル・ヘルス・クリニックの展開

九州大学 医学研究院 教授 中島 直樹

- ポータブル医療デバイスの精度における信頼性

九州大学 データ駆動イノベーション推進本部 特任准教授 イスラム ラフィクル

3. パネルディスカッション

- NPO法人ロシナンテス 理事長／九州大学・長崎大学 客員教授 川原 尚行
- 長崎大学 熱帯医学研究所 教授 金子 聡
- 大阪大学大学院 人間科学研究科 特任教授 伊藤 庸一郎

4. アクションプラン

5. 閉会挨拶 来賓より挨拶

【主催】九州大学、長崎大学、大阪大学、認定NPO法人ロシナンテス、グラミンコミュニケーションズ

【協力】九州大学 アジア・オセアニア研究教育機構

九州大学 データ駆動イノベーション推進本部健康医療DX推進部門

【問合】九州大学病院メディカル・インフォメーションセンター ticad9@med.kyushu-u.ac.jp